

ここが 変わりました!

中間報告

3. 財政改革等の推進

経常経費の削減

庁舎の電気料金削減を目的に、電気使用量を監視するシステムを導入して基本使用量の上昇を抑制しました。

財政健全化の推進

収入に対する負債返済の割合を示す実質公債費比率11.6%(H21から1.1ポイント減)、将来負担すべき実質的な負債の割合を示す将来負担比率27.0%(H21から24.2ポイント減)と財政健全化に努めました。

町債残高の減少

一般会計町債残高37億2,119万9千円(H21から5億3,033万2千円減)、特別会計町債残高41億5,356万3千円(H21から6億9,115万円減)と将来に向け、町財政への負担軽減を図りました。

保育園の合理化

八百津保育園と錦津保育園で実施していた土曜保育を、園児の減少により錦津保育園に統合しました。

子育て支援センターの管理運営

要保護児童・DV防止対策協議会設置要綱を制定し、体制の整備を行いました。また、子育て支援センターでは「母親の日」「赤ちゃんの日」「子育て講演」等を開設し、子育て支援を充実させました。

小学校の適正配置

児童の減少により福地小学校を久田見小学校へ統合しました。

防災センターの建設

町民の安心安全の拠点として防災センターを建設しました。



防災
センター

4. 広域行政関係

定住自立圏構想の推進

「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を策定し、エコを活用した地域循環型サービスの一環として太陽光発電に対する補助、特産品事業として栗の販売助成など18分野21事業を実施しました。

定住の促進

町内に住宅を新築した場合、20万円の奨励金を交付し、定住促進を図りました。

農地の有効活用

栗の栽培講習会を開催するなど、栽培を促進し遊休農地の解消を推進しています。

安心して暮らせる住民 サービスを提供するため、 残り期間さらなる改革を

第4次行財政改革を平成26年度まで推進中で、中間点までの改革状況をお知らせしました。

今後さらに質の高い行政サービスの提供が求められる中、一層の事務事業の見直し、経費削減を図り、最小の経費で最大の効果が得られるよう、残り期間「さらなる行財政経営の効率化をめざして」具体的な改革に取り組みます。